

平成30年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会開催要領

第1 趣 旨

全国の農業大学校等においては、将来の農林業・農山村を担うべき人材を育成することを目的として、農林業経営の改善又は農山村生活の向上に関する科学的技術及び知識を習得させるため、農林業経営実践学習（以下「プロジェクト学習」という。）を基調とした多様な実践教育を行っている。

全国の農業大学校等の学生が一堂に会し、プロジェクト学習等日頃の学習活動成果を交換・交流し相互に研鑽を深め、農業に取り組む自信と誇りを培うとともに農業大学校等における研修教育の充実・進展と併せて農業大学校等の存在を広報する。

第2 実施主体

全国農業大学校協議会

第3 後 援（後援申請予定）

農 林 水 産 省

農業大学校同窓会全国連盟、公益社団法人大日本農会、
一般社団法人全国農業改良普及支援協会、ヤンマー株式会社、
アリストライフサイエンス株式会社、株式会社日本農業新聞

第4 開催期日及び日程

平成31年2月14日（木）～16日（土）

第5 開催場所

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町3-1

第6 参加校及び参加者数

参加者は、全国の農業大学校等の学生及び指導職員、1校5～6名（養成課程・研究課程）とし、参加者総数300名程度とする。

第7 行 事

1. 全国発表会

5ブロック（東日本、関東、東海・近畿、中国・四国、九州・沖縄）の代表によるプロジェクト発表、意見発表及び講演等。

(1) プロジェクト発表

農業大学校等の学生が、プロジェクト学習において「自ら考え、自ら実践したこと、その成果とこれからの展開等」を発表する。

① 発表内容

ア、農林業経営に関すること、農林業技術の改善に関すること及び農山村生活の向上に関すること。

イ、平成28年度以降の全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会と他の団体の懸賞作文等の重複応募は禁止します。

ウ、動画の利用は時間内で行う。

② 発表者

ア、発表者の服装は制服又はスーツとする。

イ、各ブロックで開催されたプロジェクト発表会において選出された者（個人、グループ）とする。発表は養成課程、研究課程別に行う。

養成課程：各ブロック3名

研究課程：各ブロック2名

③ 発表方法・時間

ア、生産物等は持ち込まない。

イ、発表は、会場に設置してあるAV装置を使用し、パワーポイント（～2013但し画面4：3とする）を活用して行う。AV装置は発表者又は補助者が操作を行う。発表時間は、養成課程12分（発表10分、質疑2分）、研究課程15分（発表10分、質疑5分）とする。

なお、発表時間9分経過時に1鈴、10分経過時に2鈴、11分経過時に3鈴を鳴らす。

④ 事前提出資料

ア、審査・助言等の資料として、発表要旨（別記様式1）を平成31年1月25日（金）までに発表会事務局へメール添付で提出する。

発表会事務局メールアドレス：noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp

イ、発表時に使用するデータは、CD又はUSBメモリで平成31年2月13日（水）に実施するリハーサル時に発表会事務局に提出する。

⑤ 審査及び審査員

ア、審査は、審査基準に基づき行う。

イ、審査は養成課程、研究課程に分けて行う。

ウ、審査員は、農林水産省青年農業者育成関係者、試験研究機関の担当者、農業大学校の研修教育に理解の深い学識経験者、農業団体・農業改良普及関係者、から選任する。

エ、審査員は、審査、助言、講評を行う。

オ、審査の結果、最優秀賞、優秀賞、特別賞、優良賞を選出する。

⑥ 審査基準

ア、発表内容 60点

課題設定の背景や調査・研究への取組み方、成果の取りまとめ方及び今後の展開等。

イ、発表方法及び態度 30点

発表資料等の準備、説得力、発表態度時間配分等

ウ、理解度 10点

質疑に対する応答、態度等

審査項目

	ア、発表内容 60点	イ、発表方法及び態度 30点	ウ、理解度 10点
審査項目	① テーマの設定 はふさわしいか。 ②テーマに沿った計画で調査・研究を進めたか。 ③実践・調査・研究が的確であるか。また、実践・調査・研究課程において 創意工夫 がみられたか。 ④資料の検討・分析が十分に行われ、 成果の判断 が総合的に出来たか。 ⑤実践・調査・研究の 成果を自家の経営または地域の農業にどう展開 しようとするのか。	①発表の内容が総合的に整理されているか。 ②パワーポイント等は分かりやすくまとめ、説明は的確であったか。 ③話し方や発表態度は良かったか。 ④発表時間を有効に活用したか。	①質疑に対する応答・態度等は的確であるか。

⑦表彰

審査の結果、選出された者に対し次の区分により表彰する。

養成課程

最優秀賞（農林水産大臣賞） 1点

優秀賞（経営局長賞） 1点

特別賞（農業大学校同窓会全国連盟賞、ヤンマー株式会社賞、アリストライフサイエンス株式会社賞、株式会社日本農業新聞賞）

優良賞（全国農業大学校協議会会長賞）最優秀賞、優秀賞、特別賞受賞者を除いた発表者全員

研究課程

最優秀賞（経営局長賞） 1点

特別賞（農業大学校同窓会全国連盟賞、ヤンマー株式会社賞、アリストライフサイエンス株式会社賞、株式会社日本農業新聞賞）

優良賞（全国農業大学校協議会会長賞）最優秀賞、特別賞受賞者を除いた発表者全員

(2) 意見発表

① 発表内容

大学校等における実践学習、我が家の農林業経営や生活、地域の農山村環境、就農等について、自らの学生生活を通じ日頃考えていることや思い等について意見を発表する。

平成28年度以降の全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会と他の団体の懸賞作文等の重複応募は禁止する。

② 発表者

ア、発表者の服装は制服又はスーツとする。

イ、各ブロックの発表会において選出された者とする。各ブロック2名（養成課程、研究課程及び学年を問わない）とする。

③ 発表方法と時間

発表は口演とし、発表時間は10分（発表8分、質問2分）とする。

なお、発表7分経過時に1鈴、8分経過時に2鈴、9分経過時に3鈴を鳴らす。

③ 事前提出資料

審査・助言等の資料として、発表要旨（別記様式2）を平成31年1月25日（金）までに発表会事務局へメール添付で提出する。

発表会事務局メールアドレス：noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp

⑤ 審査及び審査員

ア、審査は、審査基準に基づき行う。

イ、審査員は審査委員会設置要領による。農林水産省青年農業者育成関係者、試験研究機関の担当者、農業大学校の研修教育に理解の深い学識経験者、農業団体・農業改良普及関係者、等から選任する。

ウ、審査員は、審査、助言、講評を行う

エ、審査の結果、最優秀賞、特別賞、優良賞を選出する。

⑥ 審査基準

ア、課題設定の背景と動機 40点

課題設定の背景や取り組みの過程、成果のまとめ方、今後の展開等。

イ、意見・提言の内容 50点

主張内容の実現性や創造性、地域性、社会性等

ウ、発表方法・態度 10点

発表態度、発表法の工夫、時間配分等

審査項目

	ア、課題設定の背景と動機 40点	イ、意見・提言の内容 50点	ウ、発表方法及び態度10点
審査項目	① 農業・農村を直視した課題設定であるか ② 主張に地域的、社会的広がりがあるか ③ 自分自身の立場に立脚した主張であるか。 ④	① 主張の内容が広く社会に受けられるものか ② 主張の内容に実現性と創造性があるか ③ 農業・農村を担う農大生としての夢や希望を具体的に持っているか	①はっきりと分かりやすい発表であるか ②自信のある態度で発表できたか。 ③聴衆の関心を得ることに工夫をしているか

⑦表彰

審査の結果、選出された者に対し、次の区分により表彰する。

最優秀賞（経営局長賞）1点

特別賞（農業大学校同窓会全国連盟賞・ヤンマー株式会社賞・アリストライフサイエンス株式会社賞・株式会社日本農業新聞賞）4点

優良賞（全国農業大学校協議会会長賞）最優秀賞、特別賞受賞者を除いた発表者全員

（3）交歓会

参加学生及び指導職員による農業大学校等の紹介、日常における実践学習や学生生活の情報交換等を行い相互の研鑽と親睦を深める。

（4）講演等

就農後の経営発展への取組、経営ビジョン等に係る講演を通じ、学生の修学意欲を高揚するとともに、農業に取り組む自信と誇りを培う。

演題：「未定」（仮称）

講師：未定

2. ブロック発表会

各ブロックにおいて、道府県農業大学校等学生・指導職員参加の下、プロジェクト発表、意見発表等学習成果の交換・交流を行い、各ブロック別に優秀発表者を選出、全国発表会に推薦する。

（1）プロジェクト発表

発表者は、農業大学校等の学生でブロック内の各校から選出された者（個人またはグループ）とする。各校別発表者数は、各ブロック別に定める。

全国発表会への推薦者数：養成課程：各ブロック3、研究課程：各ブロック2～4名

(2) 意見発表

発表者は、農業大学校等の学生でブロック内各校から選出された者とする。各校別発表者数は、各ブロック別に定める。

全国発表会への推薦者数：各ブロック2名（養成課程、研究課程、学年を問わず）

(3) 審査基準等

プロジェクト発表、意見発表の発表内容、発表方法、時間、審査基準等は全国発表会に準ずる。

第8 発表会の運営

- (1) 全国発表会の運営及び進行は学生が主体となって行うものとし、指導職員は指導助言する。
- (2) 全国発表会の円滑且つ効果的な実施を図るため、全国農業大学校協議会役員校の学生、指導職員で構成する運営委員会を設置する。
- (3) 全国発表会における分科会討議の効果的実施を図るため、参加農業大学校の引率指導職員（全国農業大学校協議会役員校を除く）は、分科会討議の指導助言等協力するものとする。
- (4) ブロック発表会の運営については、各ブロック別に定めるものとする。

(全国発表会)

第9 参加経費

(1) 参加経費

【一般参加者：1人 12,420円】

宿泊料 3,600円（2月14,15日 A棟1泊 @1,800×2）

食事代 3,520円（2月14,15日夕食@680×2）

（2月15,16日朝食@470×2・昼食@610×2）

情報交歓会費 3,000円

資料代 2,300円

13日からの参加者：1人 15,980円

注：発表者及びその補助者等で13日から宿泊される者は、
前日：夕食(680円)、宿泊費(1,800円)
翌日：朝食(470円)、昼食代(610円) を加算。(3,560円)

【運営委員：1人 15,380円】

宿泊料 3,500円（2月13日，D棟1泊@3,500）

宿泊料 3,600円（2月14,15日 B棟1泊 @1,800×2）

食事代 5,280円（2月14,15,16日 朝食@470円×3=1,410円）

（2月14,15,16日 昼食@610円×3=1,830円）

（2月13,14,15日 夕食@680円×3=2,040円）

情報交歓会費 3,000円

(2) 参加経費の振込

平成 31年1月25日（金）までに振り込む。

振込先 三井住友銀行 神田支店：店番号 219

普通預金：2809009

口座名：ゼンコノウギョウダイガッコウキョウギカイ

全国農業大学校協議会

注：振り込みの際、学校名の前に必ず〇〇県名を入れて下さい。

(3) 参加経費納入後、不参加の場合及び発表会途中の早退等に伴う参加経費の返還はしない。

第10 宿泊と生活上の注意事項

参加者は、全員国立刈苅ピック記念青少年総合センターに宿泊するため、次の点に留意する。

- (1) センターにおける生活や行事は、すべてセンターの「生活のきまり」に定められた時間帯とルールによる。
- (2) 宿泊は原則として1室1人、男女別とする。宿泊場所は、一般参加者はA棟（個室（トイレ・バス共用））、運営委員は13日はD棟（個室（トイレ・バス付き））14日、15日はB棟とする。（本年はD棟が満杯のため。）
なお、センターには寝間着、洗面道具の備え付けはないので各自持参する。
- (3) 部屋割りは、発表会事務局において作成し、参加者名簿と同時に当日受付で配付する。
- (4) 開催中、参加者に対する電話はすべて伝言（メモ）とする。
- (5) 外出する場合は、自校の指導職員の許可を得る。
- (6) 筆記具、健康保険証等を持参する。

第 11 事務局

(1) 事前準備

全国農業大学校協議会（東京都港区赤坂 1 丁目 9 番 1 3 号 三会堂ビル）

TEL：03-6441-0272 FAX：03-6441-0273

Eメール noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp

(2) 発表会期間中

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号）

・TEL：03-3469-2525 FAX：03-3469-2277

事務局は、開催期間中設置します。

第 12 参加者名簿の提出

参加者名簿（別添）は、全国農業大学校協議会のホームページのお知らせ「平成年
度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会開催要領」よりダウンロードし、
ファイルに該当事項を入力のうえ、平成 31 年 1 月 18 日（金）まで発表会事務局
noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp にメール添付で送信する。

第 13 会場案内（別紙 2）

国立オリンピック記念青少年総合センター

小田急線：参宮橋 徒歩約 7 分

地下鉄：千代田線 代々木公園駅（代々木公園西門出口）徒歩約 10 分

第 14 広報

プロジェクト発表、意見発表の内容、結果については学生の修学意欲の高揚、農
業に取り組む自信と誇りを培う等農業大学校等における実践学習の充実強化に資す
る観点から広く関係機関等一般に広報する。

第 15 その他

- (1) 全国発表会における開会式、閉会式及びプロジェクト発表、意見発表等の会
場内では、携帯電話の電源を切っておくこと。外部からの連絡は、特例を除
き全てオリンピック記念青少年総合センター経由のメモ連絡のみとする。
- (2) その他、実施細目については、第 8 の運営委員会において検討のうえ実施運
営する。

別記様式 1

プロジェクト発表要旨記入要領

A- 4版：縦置き・横書き 1枚・字の大きさ：10ポイント（MS明朝）・

1行：46字・行数：38行

平成30年度全国農業大学校等プロジェクト発表要旨

ふりがな

農業大学校名 _____ 学科名 _____ 学年 _____ 年氏名 _____

1 課 題

2 課題設定の理由

3 実施方法

4 結 果

5 考 察

別記様式 2

意見発表要旨記入要領

A- 4版：縦置き・横書き 1枚・字の大きさ：10ポイント（MS明朝）・

1行：46字・行数：38行

平成30年度全国農業大学校等意見発表要旨

ふりがな

農業大学校名 _____ 学科名 _____ 学年 _____ 年氏名 _____

1 課 題

2 意見・提言

（意見・提言等の発表要旨を主要な項目に整理し、項目別に簡潔に整理記入する。）